



大垣市の防災を考える

生活安全課防災安全係

日本は、非常に地震の多い国です。過去 200 年の統計をとると、「死者・行方不明者が千人を超す」大地震が約 12 年に 1 度の割合で起きています。阪神・淡路大震災の前、約 50 年間 はたまたま起きませんでした。地球が誕生して約 46 億年を 1 年(365 日)に換算すると、1 万年は 1.14 分、100 年はわずか 0.7 秒にしかすぎません。明治 24 年 10 月 28 日に本巣市根尾を震源として起きた濃尾大震災 (M8.0) は地球にしてみればわずか約 1 秒前のできごとにすぎません。ここ数年でも、十勝沖 (H13. 9. 26)、中越 (H16. 10. 23)、福岡西方沖 (H17. 3. 20)、能登半島沖 (H19. 3. 25)、中越沖 (H19. 7. 16)、このたびの岩手・宮城内陸 (H20. 6. 12) などの大きな地震が頻発しており、地球は常に活動し続けていると感じます。



大垣市郭町の惨状 (明治 24 年 10 月 28 日)

こうした地震が発生し、大垣が被害を受けた場合、災害時の体制を担うのは、ほかならぬ私たち職員一人ひとりです。では、私たちはどのように行動したらよいのでしょうか。災害時のルールブックのような存在として『大垣市地域防災計画 (各課に 1 冊あるオレ

ンジの本)』を発行しています。この計画は災害の種類ごとに構成されており、それぞれの災害について、災害対策の時間的順序に沿って、災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興について記述されています。また、大災害が発生すると全役所をあげて災害に対処するという考え方に基ついて作られているので、各部課はこの地域防災計画に基づき、『〇〇部災害時マニュアル』等を作成しています。

災害対策本部の開設について

まず、震度 5 強以上の地震が発生した場合に、「災害対策本部」を設置します。勤務時間外であれば、みなさんは各部署へ自主参集し、本部の指示に従い、各班で決められている業務を行います。

本部設置場所 4 階大会議室 情報工房
は設置順序

災害対策本部の構成

本部長 市長
副本部長 副市長
本部員 技監、教育長、企画部長、総務部長、かがやきライフ推進部長、生活環境部長、福祉部長、経済部長、建設部長、水道部長、都市計画部長、議会事務局長、教育事務局長、上石津地域事務所長、墨俣地域事務所長、病院長、病院事務局長

事務局 本部連絡員室長(生活安全課長)
広報担当(秘書広報班員)
本部連絡員 各部 2 人

災害時における各部の役割

災害時においては、すべての部署が重要な役割を担います。大災害時のそれぞれの局面で、各部署の重要さが変わってきます。では、主だった部の役割について簡単にご紹介します。

(1)生活環境部

災害対策本部の事務局としての役割のほか、仮設トイレの設置とし尿汲み取り、倒壊家屋が多い場合には、ごみの収集処分活動があります。これはひとときも休むことのできない重要業務です。無秩序な投棄が行われないよう防災訓練などを通じて避難所でのごみ分別の意義を普及・啓発することが重要です。また、本部としては猫の手も借りたいという事態ですから、災害協定締結市（彦根、長浜、鯖江、伊賀）に人的・物的応援を要請します。

(2)企画部・総務部・かがやきライフ推進部

職員動員等の司令塔として、はたまた本部長の秘書部門として、広報広聴部門として重要な役割があります。特に、広報関係で報道対応や紙媒体も重要ですが、現在では市公式ホームページを通じての情報発信も不可欠です。なお中越地震において小千谷市の広報は協定市である東京杉並区が作成しました。

(3)経済部

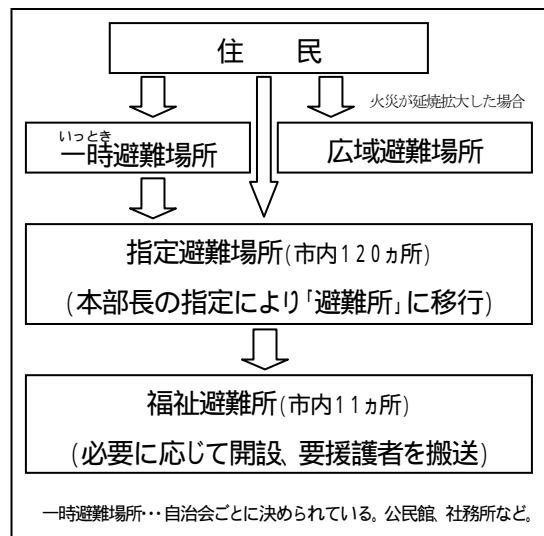
企業の中にはすでに BCP（business continuity plan/事業継続計画）の取り組みを進めているところもありますが、被災中小零細企業等に対しては融資制度の整備をしなければなりませんし、また被災者等への食糧の確保が重要な任務となります。

市では、約2万5千食の乾燥米を備蓄していますが、各企業と協定を締結し「流通備蓄」の確保も図っています。災害時には各企業の流通センター等にある新鮮な食糧が避難所等に届けられることとなります。**協定締結企業：西美濃農業協同組合、生活協同組合コープぎふ、イオン(株)、(株)ユタカファーマシー、(株)パロー、アクアウォーク大垣、(株)平和堂東海**

(4)福祉部

内閣府が要援護者の避難対策を打ち出した

ことにより、災害対策の分野では「要援護者対策」担当セクションとして重要な役割があります。また、災害救助法の所管が旧厚生省であった関係から災害救助法の担当であり、避難所を開放する場合には職員を派遣する任務も担っており、災害時における福祉部の役割は、広く深く膨大といえます。



(5)都市計画部

大災害を長期的な観点から防止し、災害を軽減するという意味では、最も重要なセクションです。もともと都市計画は、大災害や大火、戦災の復興と切っても切れないものです。ですから、街づくりのセクションは災害復興のセクションだといってよいでしょう。また建築課や住宅課は、3つの点で災害対策の重要な部分を担当します。①建物の耐震性の確保、②被災後の応急危険度判定関係事項、③応急仮設住宅供給関係がそれです。

(6)建設部

水防担当や地震災害時の交通確保などで、応急災害対策部署そのものといえます。水害等の際には全力で対応することはいうまでもありませんが、土砂崩れなどについても対応の主体となります。土木技術者を擁する部署

であるため適切な助言等が期待されます。

(7) 水道部

上下水道の被害調査のほか、飲料水の供給業務があります。人間にとって水は生きていくうえで不可欠な存在です。生活安全課の出前講座では1人1日30の水を3日分備蓄していただくようお願いしていますが、3日分だと90、それが5人家族だと450(kg)にもなってしまいます。高齢者にはかなりの負担です。そこで、市では1時間に5000を生成できる浄水機を24台備蓄しています。しかし、何といても、おいしい大垣の水を給水車で被災者に提供するのが一番喜ばれると思います。

(8) 教育委員会

小学校、中学校などの教育施設は指定避難場所となっていることから、避難所の準備や運営をしなければなりません。体育館などは、臨時の遺体安置所に、グラウンドはヘリコプターの臨時離着陸場になる場合もありますから、どのように運営するか事前に決めておく必要があります。また、小学校高学年くらいからは避難所の運営のお手伝いが十分にできます。あまり危険な作業を任せるわけにはいきませんが、日頃からの防災教育が必要となってきます。



避難所で託児ボランティアをする中学生

防災備蓄倉庫について

防災備蓄倉庫は、現在のところ市内に24か所あります。毎年2か所ずつ新設しています。詳しい場所については、ハザードマップでご確認ください。



防災備蓄倉庫の内部

倉庫の鍵は、生活安全課のほか、連合自治会長、学校長、消防団長、地区センター長などに保管していただいております。また、倉庫内には、発電機、チェーンソー、エンジンカッター、毛布、トイレ、救急箱、大釜、リアカー、担架、間仕切りボード等々、約50品目が備蓄してあります。これら資機材の購入品目については毎年、地域住民から希望をとり話し合っています。特にエンジンものについては、いつ災害が起きても使えるように、生活安全課職員が毎月点検・整備を行っています。これら資機材の使い方を知っておかないと、いざというときに初めて説明書を読むという事態になりかねませんので、地域住民へは、お祭りなどの地域のイベントで発電機や投光器、大釜を使っていただき日頃から慣れ親しんでいただけるようお願いしています。

周辺市町との連携

大地震では、大垣だけでなく周辺の市町も同様に被害を受けます。平日の昼間に大地震

が起きた場合には、市内の被災者は大垣市民だけとは限りませんので、周辺市町との連携が重要となってきます。また東安中学校は大垣の避難場所であると同時に安八町の避難所でもありますので、協力し合って運営していかなくてはなりません。そこで、西濃地域の各防災担当者と、日頃からお互いに顔の見える関係づくりを目的に「西濃地域防災担当者会議」で連携を深めています。昨年、お互いに各市町の防災研修や訓練に参加しあったり忘年会を開催したりして連携を深めました。

最後に

「避難所に避難してくるみなさんは、決してお客さんではありません。」生活安全課では出前講座で必ず住民の方々にそうお話しします。大災害時は職員だけでなく、全国からやってくるボランティア、そして子供も大人も、日本人も外国人も避難してきた人たちみんなで協力していかなければ乗り越えることはできません。中越のある避難所では、すべての事案を職員が1人で背負ってしまい、悩んだ末、自ら命を絶ったという事例もあります。このようなことはあってはならないことです。しかし、大垣市で大災害時の対応をしたことのある職員はいません。また、指揮官がすべてを見渡せるとは限りません。良いと思うことを常に考え、提案し、そして行動に移してください。そして、次の一手を見つけていただけたらと思います。



神戸からのうどんのボランティア。心が温かくなる。



インター付近の看板。この気持ちを忘れない限り、日本はまだ捨てたもんじゃないと思う。